

PLATEAUを活用した

デジタル国土強靱化の実現に向けて

2023.11.27



uhuru

About Uhuru

株式会社ウフルについて

**株式会社ウフル
代表取締役社長CEO
園田 崇史**

**1995年早稲田大学政治経済学部卒業、電通入社。
4年半の勤務を経て、南カリフォルニア大学（USC）
大学院に進学、経営管理学修士（MBA）を取得。
モルガン・スタンレー証券、日興シティグループ証券を
経て、ライブドア（現LINE）執行役員副社長就任。
2006年ウフルを設立。**





PURPOSE

存在意義

テクノロジーと自由な発想で、 持続可能な社会を創る

ウフルの考える持続可能な社会とは、
ヒト・モノ全ての需要と供給のバランスが、
無理なく、無駄なく保たれている状態。
そんな理想的な社会を、
様々なステークホルダーの皆さまと共に創る。



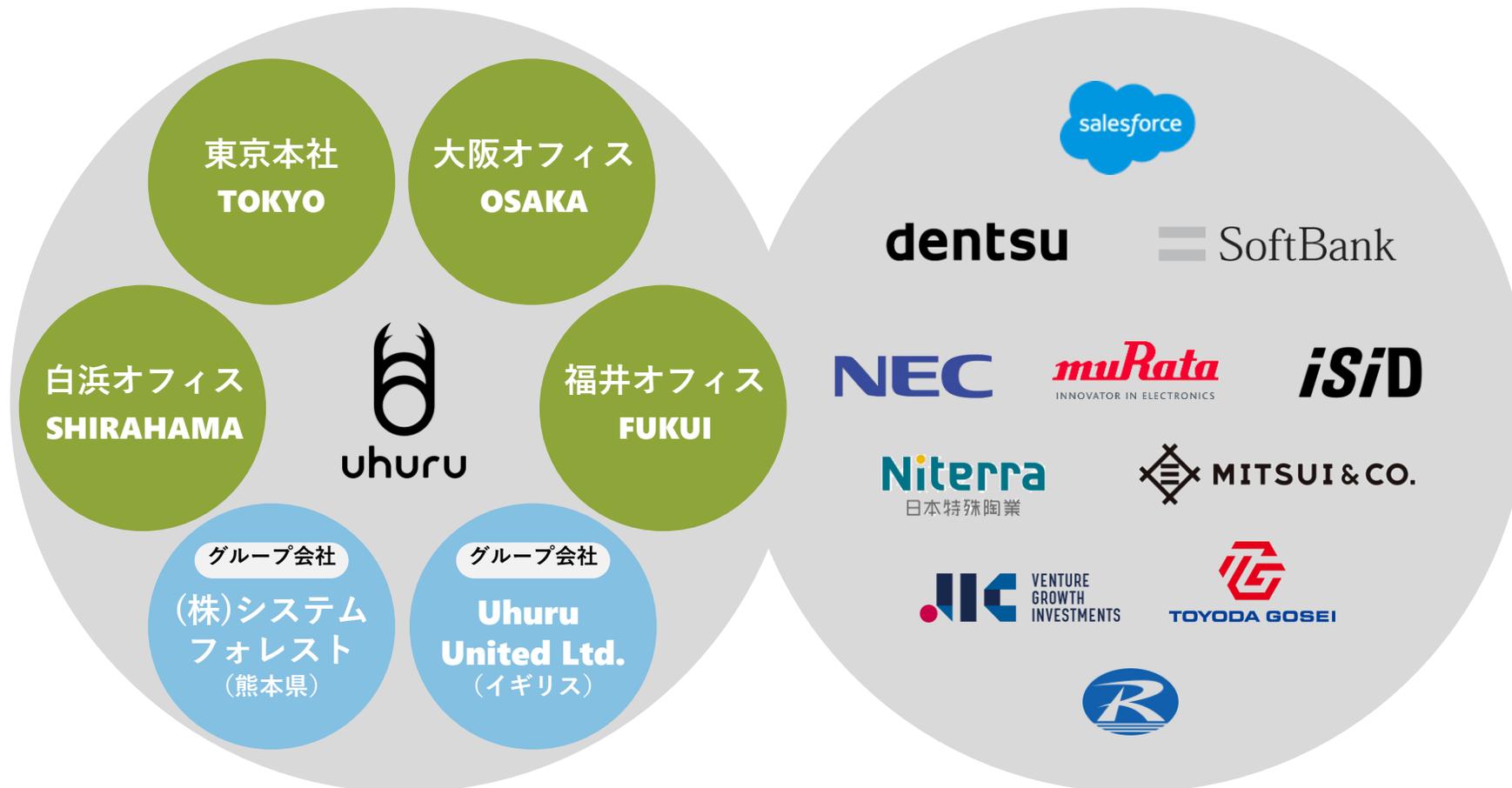
STATEMENT

目指すべき理想像

SMOOTH WORLD

企業や自治体の活動における、
さまざまな「無理・無駄」を、一つずつなくしていき、
ヒト・コト・モノがストレスなく、
スムーズに動く持続可能な社会を実現する。

COMPANY OVERVIEW 会社概要



6拠点/社員224名

主要株主

※グループ合計 ※2023年9月1日時点

BUSINESS HISTORY 事業沿革

世の中の様々な無理・無駄を取り除き、スムーズな社会を実現する事業を展開



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

経済産業省
行政連携実績 スタートアップ100選



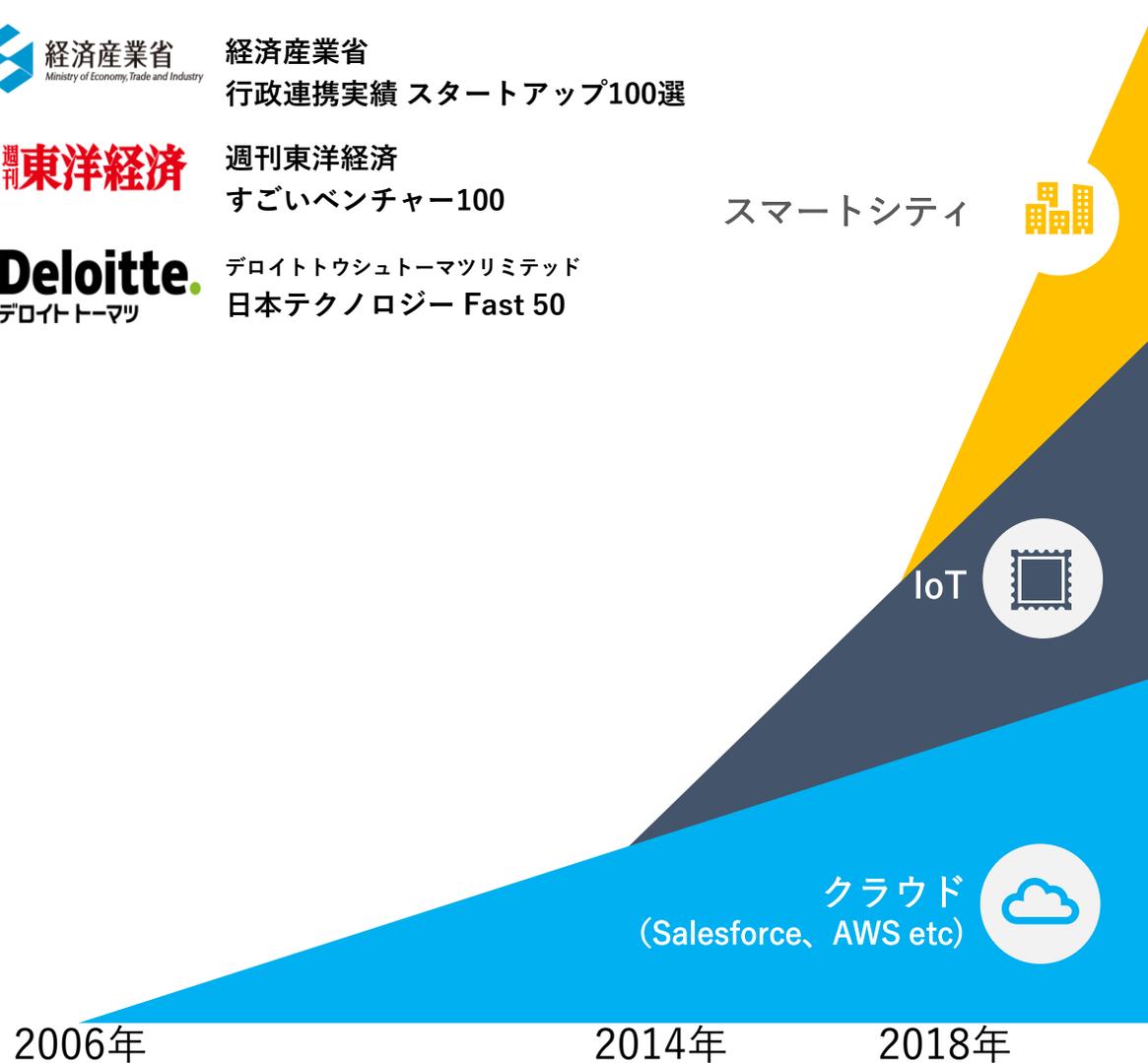
週刊東洋経済

週刊東洋経済
すごいベンチャー100



デロイトトーマツ

デロイトトウシュートーマツリミテッド
日本テクノロジー Fast 50



スマートシティ

街のあらゆるデータを繋ぎ価値に変換する
「データ連携基盤（都市OS）」を開発。
観光・防災に注力。

IoT

100件以上のIoTプロジェクトを実施。
自社サービスも開発・提供。

クラウドコンピューティング

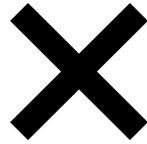
1万件以上のSalesforceやAWSなどを活用し
たシステム開発・運用。CO2排出量可視化も。

What we can do

私たちに何ができるのか



P L A T E A U
by MLIT



S M O O T H
W O R L D

PLATEAUを活用したウフルの注力テーマ

「防災・減災」

持続可能な社会を実現するため、テクノロジーの力を使い、
災害被害を最小限に抑え、スムーズな回復を図る「デジタル国土強靱化」を推進する。

そのために必要なキーワードとウフルの強み

QUICK & EASY

災害はいつ起こるか分からない。それ故に一刻の猶予もない。
誰もが素早く・簡単に始められるサービスを提供できることが、ウフルの強み。

「QUICK & EASY」が実現できる理由 ①

多彩な実績と連携先

全国で30を超える自治体との実績でスムーズな連携が可能

【熊本県人吉市】

スマートシティ、デジタル田園都市の実現に向けた羅針盤となる計画の策定等を支援。

- スマートシティ推進計画(自治体DX推進計画を含む。)の策定支援
- 地域住民、大学、団体等との対話を通じた機運醸成
- 職員を対象としたアイデアソン実施による全庁的な一体感醸成
- グループ会社の本社を置き、地域課題解決に向けた継続的な伴走支援

【和歌山県太地町】

地域課題を自動運転車両で解決車両と住民をつなぐロケーションシステムを構築。

- 自動運転車両情報システムの提供
- サービス・データ連携基盤
- GPSデータ等、センサーデータとの連携
- デジタルサイネージ

【大阪府豊中市】

応急給水ポータルの有事・平時利用を実現。下水道管の給水・点検/清掃・ハザードマップを切り替えて表示。

- 応急給水ポータルの提供
- マップ切替え機能
- ハザードマップ連携

【和歌山県和歌山市】

断水発生時に応急給水所の場所や混雑状況を地図上で可視化する「応急給水ポータル」で支援。

- 応急給水ポータルの提供
- LINEなどとの発信ツール連携

【北海道更別村】

行政DX「電子申請」・住民ポータル構築において更別村スーパービレッジ構想へ参画。

- 紙ベースの行政業務の電子化対応
- 住民ポータルとバックエンドシステムの連携
- 予約サービス、電信申請
- デザイン・UI設計

【秋田県仙北市】

データ連携基盤等を活用した防災ポータルを構築。除雪車の移動情報の共有、デジタル化を支援。

- 防災情報プラットフォームのサービス提供
- オープンデータ(雨量、水位、ハザードマップ)との連携
- 外部データ連携(ドローン空撮データ)
- センサー連携(GPS、水位センサー等)

【宮崎県延岡市】

データ連携基盤を活用した救急医療体制における情報共有および連携の効率化・高度化を支援。

- データ連携基盤
- パーソナルデータ連携を見据えた設計
- 次世代モビリティの活用
- 各種先端サービスと外部データ連携

【栃木県那須塩原市】

DX戦略の1つ「行政の業務効率化と働き方改革」をコミュニケーションツールの活用による効率化を支援。

- Slackの導入支援
- 運用・ポリシー設計
- 定着化支援
- 運用中のPDCA支援

CASE STUDY

和歌山市の防災DX

断水で混乱する被災地を「応急給水ポータル」で復旧支援



2021年和歌山市で発生した水管橋の崩落

断水発生で15万人の住民が混乱状態に。
断水から48時間で提供を開始

被災した住民が限られた応急給水所に集中し、
水をもらうため長時間待つ、並んでいる間に水がなくなるなどの
混乱が起き、自治体の窓口にお問い合わせが殺到。

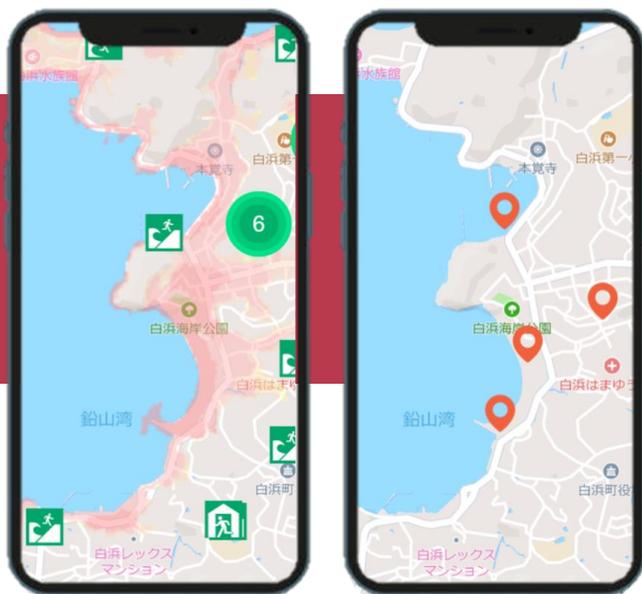
給水状況や混雑状況、残水量を可視化することで
住民の不安やストレスを軽減。自治体職員の業務改善につながり、
和歌山市では5日間で6.3万以上の閲覧があった。

▶ 内閣官房「国土強靱化 民間の取組事例集」に掲載

CASE STUDY

白浜町の観光防災マップ

和歌山県白浜町の観光と防災の二つの地域課題を解決



用途によって切りかえ可能なポータル地図を提供

観光客や地元住民に対して、地域の魅力など観光情報と合わせて災害時の避難所情報も伝えたいというニーズが顕在化。

必要な情報を同じ地図上で切り替えて閲覧可能にすることで、観光客が安心して旅行を楽しめるようにし、来訪者の増加や地域活性化に貢献。

つくる つむぐ つなげる

 しらはまこんぱす

SHIRAHAMA COMPASS

CASE STUDY

過疎地の物流イノベーション

物流イノベーションで過疎地のラストワンマイル課題を解決



過疎地域における住民の孤立解消を目指して

和歌山県日高川町は人口減少と高齢化が進行し、交通手段や若中年層の不足が深刻な課題となっている。買い物や日用品の入手が困難になり、特に独居世帯の共助・互助の促進が求められている。

セイノーHDとエアロネクストが共同で展開する新スマート物流 SkyHub®のしくみを基にウフルの次世代技術と連携することで、住民一人ひとりに寄り添ったサービスを提供し、地域住民の生活の質向上とウェルビーイングの実現に貢献。



CASE STUDY

デジタル避難訓練

PLATEAUを活用したデジタル避難訓練を実施



避難訓練の答え合わせによる防災意識の向上

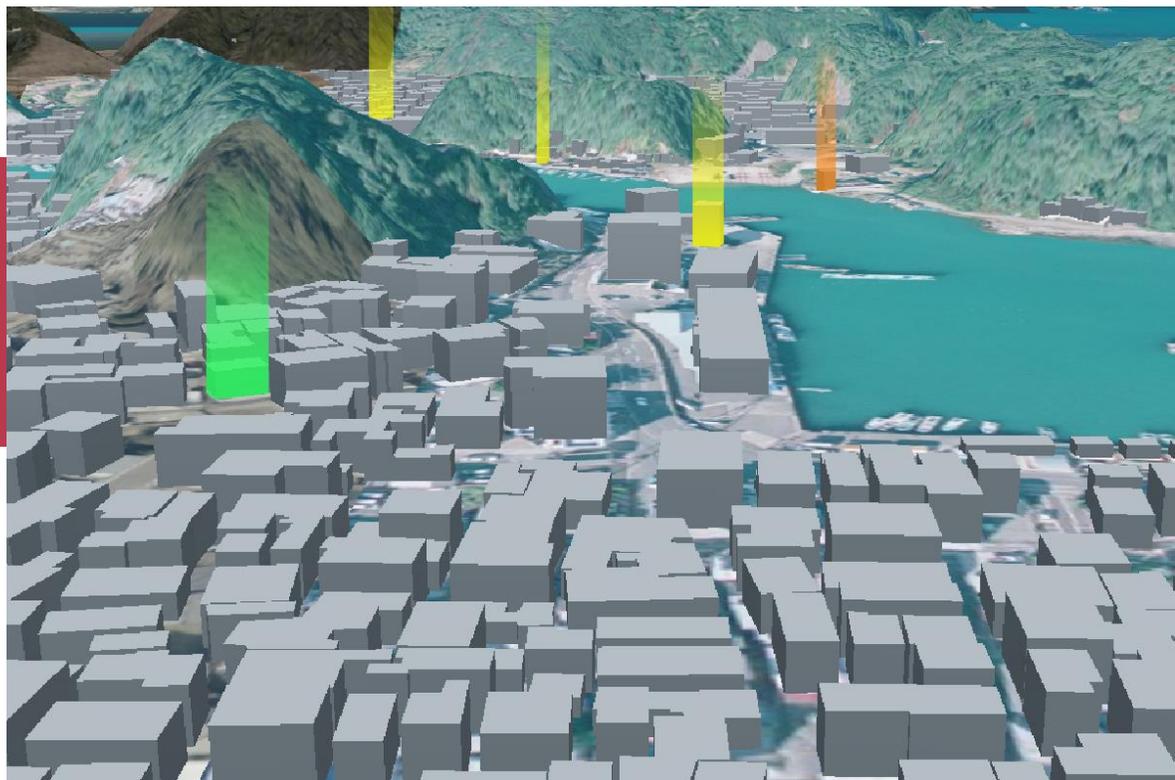
和歌山県すさみ町は、南海トラフ巨大地震が発生すれば県内で最も高い最大19メートルの津波に襲われると想定されており、防災DXに注力している。

避難者の位置を示すGPSデータと津波浸水シミュレーションデータ、PLATEAUを活用し南海トラフ地震を想定した避難訓練を実施。避難の成功・失敗とその理由を検証することで、町の避難計画の見直しや住民の防災意識の向上を図る。

Verification

PLATEAU活用構想

PLATEAUを活用した観光・防災の行動促進



光の柱で観光防災を掛け合わせた行動促進

和歌山県すさみ町は、南海トラフ巨大地震が発生すれば県内で最も高い最大19メートルの津波に襲われると想定されており、防災DXに注力している。

観光分野では観光スポットを、防災時は避難所を光の柱として情報表示することで観光客や住民の「次のアクション」を規定する上で情報の理解速度を高めるUIを検討。

「QUICK & EASY」が実現できる理由 ②

自社でのサービス開発とUX開発

自社サービス群「CUBE01」でスピード感のある開発が可能



世の中のサービスとデータを最大限に活用する
データ・サービス連携基盤



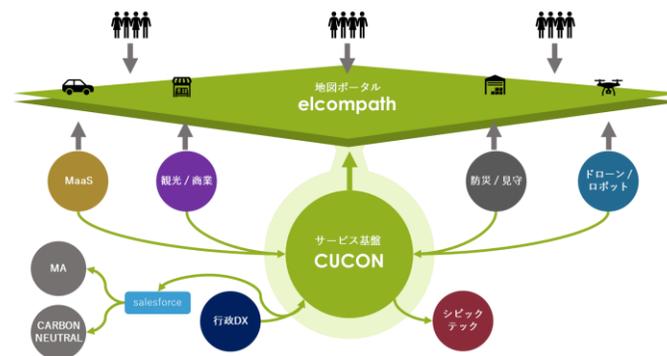
地図上で様々な情報を統合・可視化する
デジタルマップ



位置情報データの利活用、管理を実現する
位置情報サービス



CUBE01



IoT製品やサービス開発を包括的に支援する
ローコード開発実行基盤



様々なIDを連携して、パーソナライズを実現する
ID連携サービス



「欲しい時に欲しいものを」を実現する
モバイルオーダーシステム

誰にでもわかりやすい直観的でシンプルなUX開発



地図上で様々な情報を統合・可視化するデジタルマップ

「QUICK & EASY」が実現できる理由 ③

国内外での豊富な知見交換

SMART CITY

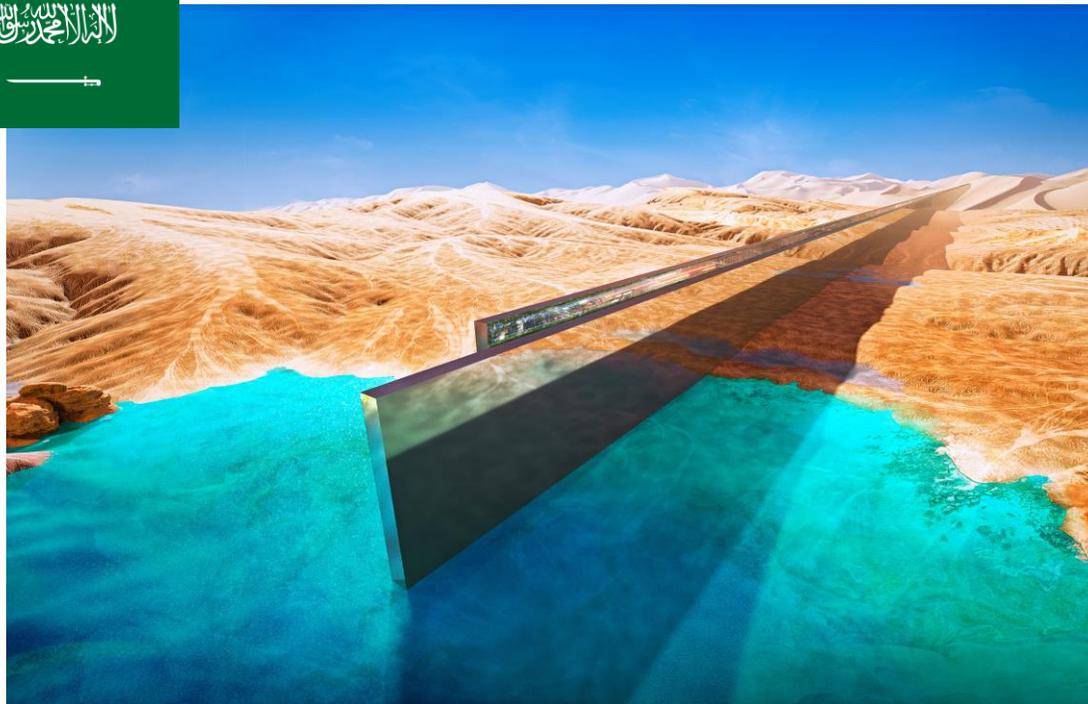
世界最大級のスマートシティ関連イベント「Smart City Expo World Congress」に出展



Smart City Expo World Congressの様子

GLOBAL SMART CITY

サウジアラビアの国立研究機関「KACST」と業務提携 2024年にスマートシティ共同ハッカソンを実施予定



大規模なスマートシティプロジェクトで注目のサウジアラビア王国



日・サウジ・ビジョン2030ビジネスフォーラム(リヤド開催)にて
西村経済産業大臣(右から一人目)とウフル代表園田(左から二人目)



THANK YOU



uhuru